

# 長野県社会福祉士会・四半世紀 No.2 (1998年～)

1998年

2月 1日 ○ケアマネジメント研究集会（社会福祉・医療事業団助成事業）  
参加申込者が多く、当初予定の会場「松本勤労者福祉センター」から、急遽「松本市民会館」に会場変更しての開催  
講師：白澤正和氏（大阪市立大学大学院教授）他

会長：宮島渡、副会長：西澤範昭、山口光治

10月 31日 ○介護保険と権利擁護を考えるセミナー開催  
安曇野スイス村サンモリッツ 150人参加

1999年

2月 20日 ○介護問題緊急アピール特別委員会設置  
介護保険前夜、無理心中事件多発の中で、緊急電話相談の実施等

2000年

4月 1日 ○介護保険制度・成年後見制度スタート  
会長：宮島渡、副会長：木下文夫、小山順子

2001年

4月 17日 ○長野県知事への3項目の提言  
（県社会福祉士会・県介護福祉士会・  
県精神保健福祉士協会の共同提言）

- ① 施設長や相談員への専門職起用
- ② 研修など職員の資質向上に必要な支援
- ③ 宅老所やグループホーム等小規模・多機能ケアのモデル事業の実施

5月 12日 ○成年後見センター  
「ばあとなあ・ながの」発足

2002年

2月 2日 ○組織化検討委員会企画  
「車座集会」スタート

4月 1日 会長：小山順子  
（勤務先：ケアハウスエマオ）

11月 16日 副会長：木下文夫、関裕一

○長野県社会福祉士会設立10周年記念セミナー開催  
テーマ 「自立支援とケアマネジメント」  
講師 白澤正和氏（大阪市立大学大学院教授）

